

がんばる
皆さんを応援!

株式会社 東京クリーニング商会

株式会社東京クリーニング商会は、衣類、布団、じゅうたんなどさまざまな品物のクリーニングを手掛けている会社です。1924（大正13）年に創業し、技術と信頼をコツコツと重ねながら今年100周年を迎えました。長年続ける集

配サービスのファンも多く、「トワーク」の愛称で親しまれています。お気に入りの品を長く大切に使用したいという人々に応えるこの仕事を「天職」と語る、3代目の代表取締役社長、森谷聡さんにお話を伺いました。

設備投資で飛躍

森谷さんの祖父で、初代の一保さんは山田村（現富山市）出身。東京でクリーニング業に携わっていましたが、関東大震災に遭い、帰郷して富山市清水町で開業しました。社名は、東京で修業を積んだことに由来しています。「創業当時、和服の洗い張りが主流だった富山で、祖父は東京で学んだ洋服向けのドライクリーニングを初めて導入したと聞いています」

洋服の普及とともに需要が高まり、現在の赤江町に店舗兼工場を新設。同時に布団やじゅうたん、カーテンなど大型品の洗浄設備を導入しました。当時、大型の設備を備えたクリーニング

店は少なかつたため、県内の同業店から大型品の委託を受けることが増え、当社は大きく業績を伸ばすことができました。

集荷宅配サービスを強みに

クリーニング品を自宅や会社へ取りに伺い、きれいに仕上げたお届けする集荷宅配サービスを展開。ワイシャツ1枚から持ち運びが難しい大型品まで、個々のリクエストにもきめ細かく対応しています。

「先代の父は時代に先駆けて設備投資をする一方、取次店方式には移行せず、従来からの集配サービスを持続する決断をしました。集配を通してお客様と直接やり取りすることで信頼関係が深まり、40〜50年ものお付き合いが続くお客様も多くなります。コロナ禍で売り上げが低迷した際も、当社の取柄は集配であり、ニーズは必ずあると確信して続けてきました」

肌の弱い方やドライクリーニング特有の臭いを気にする方への配慮、糊の付け方の好みなど、個々のリクエストにも真摯に向き合い、できる限り対応しています。お客様の困



▲機械任せの仕上げではなく、職人が1点1点仕上げた衣類はシルエットが違います。

り事や悩みに寄り添う姿勢も「集配クリーニングによって培われてきた」と実感しています。

天職に一意専心で向き合う

森谷さんは家業をそばで見て育ち、大学卒業後は東京で修業を積み、家業に入りました。

「工場でクリーニングやしみ抜きに携わりながら、集配も担当しています。汚れが落ちると気持ちがいいですし、何よりお客様が喜んでくれることがうれしく、やりがいにつながります。天職だと思っ取り組んでいます」

洗い方から仕上げまで研究を重ね、ブランド品や高級素材の知識も豊富。革製の靴やバッグのメンテナンスも展開しています。ホームページやSNSを活用した情報発信にも力を入れ、新たなニーズ獲得に向けて「年度初めに、オフィスの椅子やソファを洗って迎えるような提案もしていきたいですね」と知恵を絞ります。



▲ムートンブーツのシミも

▲プロの技でキレイに!

大切な品をお手入れ

創業100周年は、「仕事に愛着をもって取り組んでくれるスタッフのおかげ」と感謝しています。勤続年数の

長いスタッフがほとんどで、中には親子2代で勤めている方も。富山商工会議所の特定退職金共済制度を利用して、福祉向上や雇用の安定を図っています。また、森谷さんは当所青年部を通して交友が広がり、現在も公私でよいお付き合いが続いているそうです。

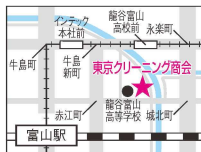
長男の侑介さん、長女の愛さんもそれぞれ営業部、総務部で活躍中。「コツコツと誠意をもって取り組む姿勢を大切に受け継いでいきたい」と語る愛さんに、森谷さんも深く頷きます。「富山が育んだ、良いものをお手入れしながら長く大切に使い続ける文化。私たちは、その文化を未来へつなぐ会社でありたい」と、スタッフ一丸となって前進する「東京クリーニング商会」を当所はこれからも応援していきたいです。



東京クリーニング商会

住所 富山市赤江町2-19

通話料無料 0120-920-916



駐車場6台あり

受付時間 8:00~18:00

定休日 日曜、祝日、土曜(不定)等

(ホームページをご覧ください)